

信州大学人文学部教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

（2019年4月以前入学生対象）

本学部では、学位授与の方針（ディプロマポリシー）に基づき、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○幅広い教養を基盤として、深い専門性を備えた知識ならびに実践的能力を修得させるため、本学部には7コース・18分野を置きます。学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは以下のいずれかの分野に所属し、専門科目を中心に学修します。

- ①哲学・芸術論コース（哲学・思想論分野，芸術コミュニケーション分野）
- ②文化情報論・社会学コース（文化情報論分野，社会学分野）
- ③心理学・社会心理学コース（心理学分野，社会心理学分野）
- ④歴史学コース（日本史分野，東洋史分野，西洋史分野）
- ⑤比較言語文化コース（比較文学分野，中国語学・中国文学分野，ドイツ語学・ドイツ文学分野，フランス語学・フランス文学分野）
- ⑥英米言語文化コース（英語学分野，英米文学分野）
- ⑦日本言語文化コース（日本文学分野，日本語学分野，日本語教育学分野）

○専門分野の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（カテゴリー）によって段階的に構成します。

- ①導入科目（人文学部の多様な学問領域の基礎知識を学ぶ1年次の「人文科学通論」）
- ②基礎科目（1年次から履修できる各コース・分野の基礎的科目）
- ③基幹科目（他コースの専門外の学生にも門戸を開いた基礎的な専門科目）
- ④発展科目（専門分野の専門性のより高い科目）
- ⑤探究科目（4年次の卒業論文）
- ⑥自由科目（コース・分野間ならびに学部間の連携を促進する科目）

○学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い分野への関心および履修を促すべく、3つの授業科目（新入生ゼミナール・人文科学通論・人文学総合ワークショップ）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な分野を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

◇「新入生ゼミナール」：人文学部での学修に求められる基礎的なアカデミック・スキルの修得と、幅広い興味・関心を持つことを目指す科目（1年次生対象）

◇「人文科学通論」：専門分野への導入科目であり、人文科学全体への幅広い興味・関心を持つことを促す科目（1年次生対象）

◇「人文学総合ワークショップ」：主専攻である専門分野の学知に立脚しつつ、現代社会における諸問題を学び、主体的に学修・考察・議論を深めることを促す科目（3年次生対象）

◇広域履修プログラム：人文学部の多彩な科目を横断的に履修することで、より幅広い学問理解を促すプログラム。キャリア形成も視野に入れ、様々なテーマに基づいて複数のプログラムが設定されている。

○教育・修学指導の充実のため、所属するコース・分野の枠にとらわれない複数指導教員体制をとります。

○すべての授業科目において授業と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確化し、単位の実質化を図ります。